

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)		授業コード	C109913
担当教員名	菅 雅幸		科目ナンバリングコード	L41206
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	全コース 必修 <input type="checkbox"/>	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	指定なし			
受講心得	受講心得 大学での学習の集大成です。人生の節目となる有意義な作品や研究を期待しています。			
教科書	指定なし			
参考文献及び指定図書	適宜指示します。			
関連科目	専門分野に関連する全科目			

授業の目的	<p>目的または到達目標 卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。</p> <p>これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自がもっとも興味を持つ分野を研究している教員を指導教員として選び、その指導のもとで卒業論文または卒業設計を完成させます。指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げ提出し、審査を受けます。</p>
授業の概要	<p>指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げ提出し、審査を受けます。</p>

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：ガイダンス、研究テーマの紹介</b> 所属する研究室でこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。	
<b>第2週：ガイダンス、研究テーマの紹介</b> 所属する研究室でこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。	
<b>第3週：研究テーマの選定</b> 各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。	
<b>第4週：研究テーマの選定</b> 各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。	
<b>第5週：既往の研究の分析</b> それぞれの分野におけるこれまでの著書、論文等報告、インターネット上の公開等について調査します。	
<b>第6週：研究計画の策定</b> これからどのような取り組みをしていくのか、計画を立てます。	
<b>第7週：研究対象の選定</b> 研究テーマに沿って、具体的にどの範囲の何について研究するのかを決めます。	

<b>第8週：研究方法の決定</b> 研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。	
<b>第9週：調査の計画</b> 研究対象を調査するための準備をします。	
<b>第10週：調査対象の確定</b> 実験や調査の詳細を詰めていきます。	
<b>第11週：予備調査の計画</b> 本調査の前に、事前調査をします。まず、そのための計画をします。	
<b>第12週：予備調査</b> 事前調査を実施します。	
<b>第13週：予備調査結果の分析</b> 調査結果をとりまとめ、分析します。	
<b>第14週：研究の目的と方法の再検討</b> 予備調査を基に研究の目的と方法を再検討します。	
<b>第15週：仮説を立てる</b> 予備調査と再検討した結果を基に研究の仮説を立てる。	
<b>第16週：研究の計画</b> 研究のための計画をします。	
<b>第17週：研究の調査</b> 研究の調査を実施します。	
<b>第18週：調査結果の分析</b> 調査結果を取りまとめ、分析します。	
<b>第19週：調査結果の考察</b> 分析結果について考察します。	
<b>第20週：研究成果の検証</b> 考察結果について検証します。	
<b>第21週：図表の作成</b> これまでの研究成果をまとめるため、図表を作成します。	
<b>第22週：図表の完成</b> 図表を検証し、完成させます。	
<b>第23週：論文の作成</b> これまでの研究成果をまとめるため、本文を作成します。	
<b>第24週：研究の完成</b> 本体を、完成させます。知見を基にまとめます。	
<b>第25週：梗概の作成</b> これまでの研究成果をまとめるため、梗概を作成します。	
<b>第26週：梗概の完成</b> 梗概を検証し、完成させます。	
<b>第27週：発表会の準備</b> これまでの研究成果を発表するための準備をします。	
<b>第28週：発表会の練習</b> パワーポイント等を使用して、発表練習をします。	
<b>第29週：発表会</b> これまでの研究成果を発表します。	
<b>第30週：反省会・将来の展望</b> 知見を基に、今後の課題と問題点を明らかにします。	
(1)授業の形式	「演習等形式」

授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自分の専門分野をもち、問題意識と探究心を抱くことができる。
【知識・理解】	各専門分野における主な既往の研究について把握している。
【技能・表現・コミュニケーション】	研究成果を、第三者に対し分かりやすく発表することができる。
【思考・判断・創造】	研究の目的に即した調査方法と分析方法を自ら学び、実行することができる。 研究計画を立案し、それに即した研究を締め切りまでにまとめ上げることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

(「人間力」について)

※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	普段の取り組みによるレポートを評価します。 卒業研究論文により評価します。
発表・その他(無形成果)	卒業研究発表会の口頭発表を評価します。